

『九州龍谷短期大学紀要』投稿要領

(平成31年3月改訂)

1. 本学で開講されている学問分野もしくはその関連領域に関する未発表の学術論文であること。
2. 投稿資格は原則として、九州龍谷短期大学常勤の教職員、名誉教授及び学生の九州龍谷学会正会員、九州龍谷学会賛助会員であること。但し、編集委員会から特に執筆を依頼された場合は、この限りではない。
3. 原稿は、横書きの場合は37字×37行、縦書きの場合は50字×18行とし、8,000字～20,000字程度とする。Wordで作成し、プリントアウトした原稿2部を、「九州龍谷短期大学紀要論文投稿申込書」と併せて提出すること。
4. 論文の採否については、査読の上、紀要編集委員会で決定する。
5. 採択された場合、最終原稿2部とUSBメモリを提出すること。
6. 本誌掲載の著作物の著作権は、本学会に帰属する。また、本誌は学会誌として刊行すると共に、原則としてオンライン公開する。
7. 提出期限：毎年10月末日とする。(期限厳守)
8. 提出先：〒841-0072 佐賀県鳥栖市村田町岩井手1350

九州龍谷短期大学内 九州龍谷学会事務局

電 話：0942-85-1121

F A X：0942-82-8411

E-mail：library@k-ryukoku.ac.jp

執筆要項

1. 論文冒頭に題名（副題）と執筆者名を明記する。執筆者名に所属・職名は付さない。
2. 欧文タイトルと氏名のローマ字表記とを併せて提出すること。なお、これらは別紙に記して提出することとし、論文冒頭に掲げることはしない。
3. 註番号は、括弧つき算用数字で付す。（例：……と考察される⁽¹⁾。）
4. 註は末註形式とし、その冒頭に「註」と表記する。括弧つき算用数字で通し番号をつけること。
5. 独立引用文は2字下げとし、かぎ括弧は用いない。
6. 引用文献の記載は、註記においてなすことを原則とする。

縦書きの場合は、漢数字を用いる。刊行年の記載は、西暦、元号のいずれを用いてもよいが、いずれかに統一すること。和文・欧文の両方の文献を引用する必要がある場合は、和文文献も含めて西暦に統一する。

この場合、初出箇所以下例に準じて記し、2回目以降は適宜略称を用いる。

和文雑誌論文

龍谷太郎「鳥栖市との好ましい連携のあり方」『九州龍谷短期大学紀要』
第64号、pp. 15-20、2017年。

縦書きの場合 第六十四号、一五～二十頁、二〇一七年。

和文書籍

龍谷太郎・龍谷花子『仏教入門』龍谷出版、pp. 15-20、2017年。

縦書きの場合 筒井末春・中野弘一『心身医学入門』南山堂、三五頁、一九八七年。

欧文雑誌論文：Penelope Wise, “Money Today:

Two Cents for a Dollar,” *No Profit Review 2* (1987):123.

欧文書籍：David Stafford, *Britain and European Resistance, 1940-1945*

(Toronto:University of Toronto Press, 1980), 90.

7. 欧文で論文を執筆する場合は、それぞれの言語圏での一般的な学術論文の形式に準拠すること。英文の場合は、The Chicago Manual of Style によることを原則とする。
(前に挙げた英文文献の引用例は、同書によるものである。)
8. 欧文で表記される書名、雑誌名、およびその略号はイタリックで表記することを原則とする。
9. 論文では、常用漢字、現代かなづかいを用いることを原則とする。但し、古典的資料からの引用文に関してはこの限りではない。